

保護者の皆様

札幌市立栄町中学校  
校長 後藤 大輔

# 全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては益々御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、特段の御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、4月に3学年で実施された全国学力・学習状況調査の結果から、「本校の概要」を全国平均と比較してお知らせいたします。なお、生徒の個人票は配付済みです。(今年度は国語、数学と英語を実施。)

## 1. 学力調査の結果及び課題と改善方法について

### (1) 国語

記号の意味(5段階)  
△上回っている。  
◇やや上回っている。(＋3ポイント以内)  
－ほぼ同程度  
◆やや下回っている。(－3ポイント以内)  
▼下回っている。

| 学習指導要領の領域等      | 本校の概要(全国平均と比較して)          |
|-----------------|---------------------------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 |
| 話すこと・聞くこと       | ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 |
| 書くこと            | ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 |
| 読むこと            | ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 |

#### 【課題と改善方法】

- [課題]・言葉のきまりへの理解や、音声言語を通して適切に表現し正確に聞き取る力。  
・読解や記述で蓄えた知識と言葉を、実際の対話や発表の場で生かして発信する力。
- [改善方法]・言語事項の理解を深め、日常生活で正しく言葉を使い分ける言語活動の充実。  
・読解等で得た知識を基に、話し合いや発表で進んで発信する機会の充実。

### (2) 数学

| 学習指導要領の領域等 | 本校の概要(全国平均と比較して)          |
|------------|---------------------------|
| 数と式        | △全国平均を上回っている。             |
| 図形         | △全国平均を上回っている。             |
| 関数         | ▼全国平均を下回っている。             |
| データの活用     | ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 |

#### 【課題と改善方法】

- [課題]・反比例の表の特徴を捉えて、変数の値に対応する値を求めて表を完成させる力。  
・箱ひげ図や度数分布多角形からデータの傾向を捉え、理由を説明する力。
- [改善方法]・グラフの形と言葉を結びつけて特徴を正しく読み解く学習の充実。  
・社会や日常の事象と関連させてグラフの意味を解釈する活動の充実。  
・理由の書き方の型を活用して数学的な根拠に基づき論理的に説明する指導の充実。

### (3) 英語

#### 【課題と改善方法】

- [課題]・音声や語彙文法の知識を活用し、日常的な状況に応じて情報を正確に聞き取る力。
- ・日常的・社会的な文章から目的や概要を捉え、自分の考えと理由を読み書きする力。
  - ・日常的な話題について、事実や自分の気持ちを整理してまとまりのある文章を書く力。
  - ・音声や語彙・文法の知識を実際の場面で生かし、相手と臨機応変にやりとりする力。
  - ・日常的な話題について、事実や自分の気持ちを整理してまとまりのある内容で発表する力。
- [改善方法]・ALT や ICT 機器を活用した、日常的で自然な英語を聞き取り、臨機応変にやりとりする活動の日常化。
- ・目的（要点を掴む、必要な情報を探すなど）に応じた読み方を意識させ、大意を素早く捉える読解指導の展開。
  - ・自分の考えや気持ちを、理由や事実とセットで整理し、まとまりのある文章や音声で発信する表現活動の継続。
  - ・習得した語彙や文法知識を、実際のコミュニケーション（発表や対話、記述）の場面でくり返し活用させる授業づくり。

※今年度の中学校英語の調査では、IRT（項目反応理論）という国際的な学力調査等でも採用されているテスト理論を用いて、生徒ごとに異なる問題で構成された調査が実施されました。そのため、平均正解率など単純な比較はできず、調査全体から見えてくる課題と改善方法のみを記載しています。

## 2. 学習状況調査（生徒質問紙）の現状分析及び今後の方針・取組について

#### 【現状分析】

##### <学校生活に関わる質問>

○「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して肯定的に回答した生徒の割合は、どちらも高く、全国平均を上回っています。

●「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して肯定的に回答した生徒の割合は、全国平均を下回っています。

##### <学習に関して>

○「数学の勉強が得意だと思う」「数学の勉強が好きだと思う」と答えた生徒の割合が、全国平均を上回っています。子どもたちが数学に対して前向きな気持ちをもっていることを示しており、日頃の学習の積み重ねが自信や意欲につながっていると考えられます。

○「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という質問に対する肯定的回答は、全国平均を上回っています。

●平日（月曜から金曜）、休日（土曜、日曜）ともに 1 日あたりの学習時間は、全国平均を下回っています。

#### 【今後の方針・取組】

上述の現状分析を踏まえ、本校では今後以下の取組を推進したいと考えます。

##### (1) 「対話」を軸にしたキャリア教育の推進

人と違う意見が否定されない安心安全な学級の強みを生かし、互いの良さや将来の夢、興味のある職業について自由に語り合い、視野を広げるワークショップや面談を実施します。

##### (2) 「目的意識」を持たせる家庭学習への動機付け

将来の目標（進路ややってみたいこと）と日々の学習を結びつける働きかけを行い、ただ時間をこなすのではなく「何のために学ぶのか」を意識させて学習への意欲を喚起します。

##### (3) 「自己有用感」を育む役割と貢献の場づくり

学級や教科の係活動、行事などを通して「自分が人の役に立っている」と実感できる機会を増やし、自己肯定感を高めることで、主体的に将来の夢や目標を描く土台を築きます。